高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　令和４年２月24日（木）

ICT環境整備の要望書を教育長に提出

―県立高校への高速Web回線の設置とICT環境の整備―

コロナ禍で延期になった第２回常任理事会が令和３年11月１日（月）に開催されました。

会議の中で、コロナ禍により多くの学校ではオンライン授業が実施されているが、ICT環境が不備で授業が効率よく実施できないという実態が話題になり、宮城県高等学校PTA連合会として、ICT環境の整備を県教委に要望することになりました。

12月23日（木）午後２時に千葉真己恵県連会長が伊東昭代宮城県教育委員会教育長に「県立高等学校への高速Web回線の設置とICT環境の整備に係る要望書」を提出しました。その後、同席した泰田亜紀子副会長、勅使瓦城基副会長を含め伊東教育長と情報交換が行われ、伊東教育長から「要望を真摯に受け止め、ICT環境整備に努力したい」と回答を得ました。

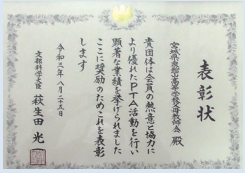
泉館山高校 優良PTA文部科学大臣表彰受賞

感謝。誇り。飛躍。

泉館山高校ＰＴＡ会長
安野　英彦

この度は長年積み上げてきた保護者と教職員の密接で積極的な行事等の企画、運営、協力体制を評価して頂きました。心より感謝申し上げると共に、この栄誉は次代を担う泉館山高校ＰＴＡの誇りになると確信します。

飛行機が向かい風に立ち向かいながら離陸していく雄姿と同様に、コロナ禍だからこそ、知恵を出し合い、異体同心の団結で、更なる飛躍をして参ります。


表彰状

宮城県高等学校長登米高等学校
貴団体は会員の無償ボランティア協力により優れたＰＴＡ活動を行い顕著な業績を挙げられましたここに感謝の意のしるしを表彰します
令和三年八月三十日
文部科学大臣　萩生田光一

令和３年度 宮城県高P連広報紙コンクール結果

令和３年度の広報紙コンクールの審査は、令和４年１月19日（水）、宮城県青年会館で予定していましたが、コロナウイルス感染拡大のため調査広報委員が集まって審査することはできませんでした。そのため、調査広報委員長校の田尻さくら高が中心となり、書面による審査を行い、下記のとおり、令和３年度の「優秀賞」５校が決定しました。

※古川黎明高校、※気仙沼高校、※仙台二華高校、岩ヶ崎高校、気仙沼向洋高校
（※印３校は東北地区広報紙コンクールに推薦）

第70回東北地区高等学校PTA連合会 青森大会の記録

青森大会は、コロナ禍のため中止となりましたが、東北大会で東北各県の皆様にお伝えしたかった青森県高P連の思いを記録した「青森大会の記録」が発行されました。各加盟校に送付しましたので、ご覧ください。

来年度の東北大会は、７月１日（金）盛岡市で開催される予定です。コロナが収束し、東北各県の会員が盛岡に集まれることを期待します。

「一人も残らず咲き誇れ！
彩りあふれる子供たちの未来」

― ポストコロナ期の子供たちの環境、コミュニケーション、そして未来 ―

（みやぎ高校PTAフェスティバル2021のテーマ）

講演　瀬川文子 氏

ピアノ演奏　浅野託矢 氏

パネルディスカッション

令和３年10月７日（木）に12：50から日立システムズホール仙台で、今年も恒例の「みやぎ高校PTAフェスティバル2021」がコロナ禍の中、感染対策を徹底し開催されました。

昨年に引き続き、今年も午後からの開催で参加者も原則１校３名以内と、時間を短縮し参加者を制限しての開催となりました。

開会行事では、宮城県教育委員会伊東昭代教育長、宮城県高等学校長協会会長佐々木克敬仙台三高校長に御祝辞を賜りました。

その後、「わが子をその気にさせる会話術」と題して、親業シニアインストラクター瀬川文子氏が講演しました。多くの参加者から「役に立った」「良かった」と好評でした。

「どんな未来でも子どもたちが夢を持てるように」というテーマで行われたパネルディスカッションでは、コーディネーターを千葉真己恵県連会長、パネリストを今年度フェスティバル担当校の５名のPTA会長（石川美香仙台工業高校会長、佐藤秀晃白石高校会長、小嶋昌信古川高校会長、杉山昌行桜坂高校会長、荒木香織登米総合産業高校会長）が努めました。

事前に実施したアンケート結果をもとに「親として子供たちの未来を拓くため何ができるか」など子供たちに対する愛情溢れるパネリストの方々の意見を聞くことができ、大変有意義な内容でした。

講演とパネルディスカッションの合間に行われたアトラクションでは、浅野託矢さんのピアノ演奏に癒やされました。

事前アンケートには、599名の会員の皆様からご協力を頂きありがとうございました。

アンケート結果を掲載しますので、ご覧ください。

パネルディスカッション

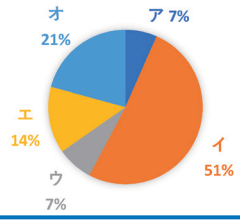
運営担当（仙台三高 PTA）

アンケート調査の結果

Q1

生徒がコロナウィルスに感染したり濃厚接触者となったことで、登校ができなくなった期間学校ではどのような学習サポートが行われていましたか（学校閉鎖・学年閉鎖等を除く）。

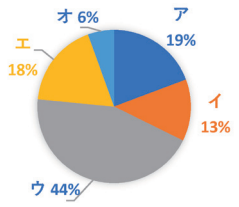
ア）主に Web を用いたリモート授業　　イ）主に課題による補充
ウ）教科によって Web、課題どちらが主か異なるが併用した補充
エ）何も行われていない　　オ）その他（７に内容を書いてください）



Q2

もし、お子様が感染者や濃厚接触者となり、ホテル隔離や自宅待機となった場合には、どのような学習サポートを望みますか。

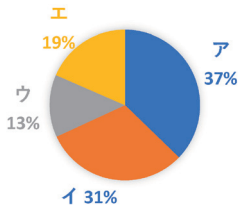
ア）主に Web を用いたリモート授業　　イ）主に課題による補充
ウ）Web も課題も併用した補充　　エ）療養や休養に専念させたいので必要ない
オ）その他（７に内容を書いてください）



Q3

このコロナ禍で授業の遅れなどに不安を感じましたか。

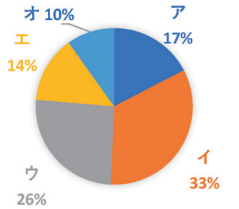
ア）授業時間が減り、学力定着に不安が残った
イ）授業時間は若干減ったものの、学力定着に影響するほどではなかった
ウ）受験対策や就職対策のための演習や講習が減り、不安を感じた
エ）ほとんど影響がなかった



Q4

このコロナ禍で行事や課外活動が減りましたが、どのように感じましたか。（複数回答可）

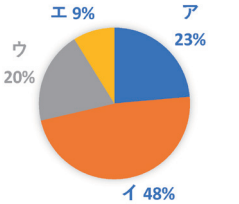
ア）友人関係の構築や維持が大変だと思った　　イ）モチベーション（前向きな気持ち）が下がった
ウ）発表・参加の機会が減り、学校生活への意欲に影響があった
エ）学校行事等の見直しや整理がなされた機会となった。
オ）機会が減ったり、規模が縮小されても、あまり影響がなかった



Q5

このコロナ禍で大学見学、専門・専修学校見学、職場訪問などの機会が減りました。どのような影響を感じていますか。（複数回答可）

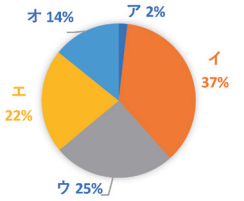
ア）必要な情報が集められない　　イ）学校や職場の雰囲気がよくわからない
ウ）Web だけの面接で人物評価されるのは不安だ
エ）時間や費用がかからずに、Web で済むことは便利だ



Q6

コロナ禍で、生徒はどのような方々とのコミュニケーションが低下したと思いますか。（複数回答可）

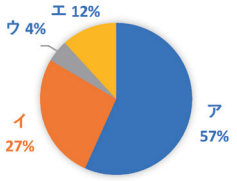
ア）家族　　イ）友人・同級生
ウ）部活動などでの先輩や後輩　　エ）社会人一般（社会とのつながり）
オ）特に低下したとは思わない



Q7

コロナ禍の影響で、進路希望の変更（大学進学から就職へなど）や就職先･進学先の変更（首都圏から地元へなど）を考えていますか。

ア）考えていない
イ）今は考えていないが、変更の可能性はある
ウ）変更することを考えている　　エ）そもそもまだ進路を決めていない



Q8

保護者として、大人として子供たちの未来を拓くためにどんなことができると思いますか。（自由記述）

たくさんのご意見ありがとうございました。
掲載は紙面上の都合で省略させて頂きます。

進路について話す割合高校生で過去最高

コロナ禍で高校生・保護者のコミュニケーション増加

「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（2003年より、隔年で実施している全国高P連とリクルート合同調査、今回で10回目）の結果から特徴的なことを紹介します。

コロナ禍での進路選択における親子コミュニケーションの実態調査では、高校生・保護者とも30%近くが親子間のコミュニケーション量が増加したと回答しています。その中で進路について話す割合は、高校生で83%、保護者で89%、高校生で過去最も高い割合でした。

保護者が進路選択に関わる重要性は増していますが、保護者の70%が、進路選択について子どもにアドバイスをすることが難しいと感じています。その理由は、「社会がどのようになっていくのか予測がつかないから」「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」が50%を超えています。

ICT機器が普及し、Webメディアを介して、プラスな情報もマイナスな情報も両方リアルに入ってきて、判断に迷うことが多くなっています。最も信頼できるのは学校からの情報提供です。PTA研修会での情報収集もますます重要になっています。保護者と教職員がともに高校生に夢をもたせることができるアドアイスが期待されています。

第３回常任理事会報告

第３回常任理事会が宮城県青年会館で、令和４年１月12日（水）に午後２時から開催されました。令和３年度事業中間報告、令和４年度の活動方針案と行事計画案、令和４年度県連役員、令和４年度全国、東北地区表彰の推薦などについて協議されました。来年度のフェスティバルについては、アンケート結果から今年度同様午後から半日で開催することになりました。

令和４年度の主な行事

５月12日（木）	第１回常任理事会（青年会館）
	第５回宮城大会準備委員会（青年会館）
５月27日（金）	令和４年度県連総会（国際センター）
	第１回宮城大会実行委員会（国際センター）
７月１日（金）	東北地区高P連盛岡大会（盛岡市）
７月14日（木）	フェスティバル担当校会議（青年会館）
８月25日（木）～26日（金）	
	全国高P連石川大会（金沢市）
８月31日（水）	第２回常任理事会（青年会館）
10月６日（木）	みやぎ高校PTAフェスティバル（楽楽楽ホール）
	（担当校：柴田、宮工、古川工、石巻工、迫桜）
１月11日（水）	第３回常任理事会（青年会館）

令和４年度 主な県連役員校

会　長	仙台西高
副会長（支部長）	泉松陵高
〃	亘理高
〃	古川工業高
〃	東松島高
〃	迫桜高
委員長（健全育成）	名取北高
〃　（進路対策）	岩出山高
〃　（調査広報）	桜坂高
事務局長研修会担当	東松島高
東北大会パネリスト	石巻工高
県連事務局	仙台西高

令和５年度開催全国高Ｐ連宮城大会について

第３回常任理事会終了後、第３回宮城大会準備委員会が開催されました。第２回準備委員会（11月１日開催）で、千葉会長から全体のテーマ案と分科会テーマ案が提示され意見交換を行われましたが、参加者から「全加盟校からも幅広く意見を聞く必要がある」という意見が出され、全加盟校から意見を集約することになりました。

第３回準備委員会では、その集約した意見を参考に大会テーマについて再度協議しました。集約した意見では会長案に賛成する意見が多くありましたが、別案や会長案に対する修正などもありテーマを決定するまでには至りませんでした。次回再度協議することになりました。

シンボルマーク、ポスターについては、公募して作成することにしました。その他、大会予算案、業務委託業者の選定、講演者とアトラクションなどについて協議しました。

予算案では、県外からの参加者を5000人、オンライン参加校を700校と仮定した案を提案されました。記念講演者については、候補者としてサンドウィッチマンなどが挙がっています。アトラクションについては、各分科会会場では行わないで、各校の合唱部による「花は咲く」のビデオを流すだけでよいのではという意見もありました。全体会のアトラクションの候補としては、宮城広瀬高OBで結成した「白A」などが推薦されています。

実行委員会設置要綱、大会事務局については、第４回準備委員会で協議することにしました。今後の準備委員会は、２月24日（木）第４回準備委員会、５月12日（木）第５回準備委員会の開催予定です。

編／集／後／記　　進路の話をするとき保護者がよく使う言葉は「自分の好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が最も多い。高校生は、それを言われたときどう感じるのでしょうか。「自分の意思を尊重してくれていることへの感謝と頑張らなければいけないと思う」と前向きに捉えてくれればよいのですが、将来何をしたいのか定まっていないので逆に困ったり、遠回しに自分の進路が否定されているような気がする高校生も多いようです。保護者の約70%は、こどもにアドバイスすることの難しさを感じています。